

本日の目的：豊臣政権の崩壊と江戸幕府の成立の過程を理解する

- 2度の朝鮮出兵（文禄の役(1592)・慶長の役(1597)）が豊臣政権の弱体化を招く
- ➡ 出兵に参加した西国大名の疲弊はすさまじく、豊臣政権への不満が高まる
- ➡ 軍務を担う武断派勢力（加藤清正）と政務を担う文治派勢力（石田三成）が対立
- ➡ 徳川家康は半島への出兵に参加しておらず、結果的に戦力を温存することに成功

徳川家康 三河の大名、信長と同盟を結ぶ➡秀吉の臣下となる➡天下人に！

○「徳川家康」になるまで

- ・ 1 _____（2 _____氏の庇護下）➡桶狭間の戦い以降、自立
- ・ 3 _____（1561年）：今川氏と断交し、織田信長と同盟を結ぶ
➡今川義元より偏諱を受けて元康と名乗ったが、「元」を返上し「家康」とした
- ・ 4 _____平定（1566年頃）：朝廷から従五位下三河守に叙任される
➡この頃から「徳川」に改姓し、徳川家康となる



織田信長との同盟関係を維持しつつ、勢力圏の拡大に成功

○豊臣秀吉への臣従以降（1586年～）

- ・ 関東（250万石）へ移封（1590年）：5 _____に居城
- ・ 朝鮮出兵（1592・97年）：多くの西国の大名が出兵させられ、消耗を強いられた
➡家康などの東国の大名は名護屋城の防衛にあたった➡兵力・財力の温存に成功
- ・ 6 _____に任命される（1598年）
➡病床の秀吉は自身の死後、幼い秀頼を補佐するために五大老・五奉行を設置

○秀吉の死後（1598年～）

- ・ 豊臣秀吉 没（1598年）：遺児7 _____を補佐して8 _____城で執政
➡秀吉が禁じていた大名家同士の婚姻を積極的に行い、影響力の拡大に成功
- ・ 前田利家 没（1599年）：家康は大坂城に入り、他の大老を帰国させる
- ・ 9 _____の戦（10 _____年）

<西軍>総大将(11 _____)・上杉景勝・宇喜多秀家・12 _____・小西行長ら



※ 豊臣家臣内でも分裂

<東軍> 〃 徳川家康(徳川秀忠)・加藤清正・福島正則ら

- ➡ 東軍の勝利(小早川秀秋の寝返りなど)➡西軍諸大名の処分(毛利氏の減封など)
- ➡ 豊臣秀頼も減封…摂津・河内・和泉 65万石の一大名に

○江戸幕府成立以降（1603年～）

- 13 _____ に就任（1603年）：江戸幕府成立
- 14 _____ として駿府で執政（1605年～）：将軍を秀忠に譲る
- 15 _____ （冬の陣：1614年・夏の陣：1615年）：16 _____ 事件
➡秀頼・淀君自殺 ➡豊臣家滅亡

○幕府による統治 17 _____ 体制：将軍（幕府）と大名（藩）が人民を支配

軍事力 直参は江戸城下に居住し、非常時には徴兵される＝将軍直属の常備軍

- a. 直参…18 _____ (御目見得＝将軍謁見可 約 5000) ・ 19 _____ (約 17000)
➡直属の家臣 **石高 1 万石未満** 江戸在住で役職・軍役を務める
b. 諸大名(石高 1 万石以上)の軍役を義務化

☆大名の区分と配置

- 20 _____ …徳川一門 21 _____ (**尾張・紀伊・水戸**)、会津 } …要地
- 22 _____ …関ヶ原以前からの家臣：幕政に参加 ex. 本多、井伊 }
- 23 _____ …関ヶ原以後の家臣島津：島津氏・毛利氏・前田氏 etc …辺地

経済力

- a. 24 _____ (幕領：将軍直轄領 **4 0 0 万石**) ・ **旗本知行地** (**3 0 0 万石**)
➡計 **約 7 0 0 万石** → 全国石高の **4 分の 1** を占める
➡ 25 _____ ・ 26 _____ が徴税・治安・裁判などを担当
1 0 万石以上 関東・西国・美濃・飛騨の 4 郡代
- b. 主要都市の直轄：江戸・京都・大坂・長崎・堺
c. 主要鉱山の直轄：金山…伊豆・佐渡相川、銀山…但馬生野・石見大森
d. 主要街道の直轄：江戸を起点とし、主要地域を結ぶ。**道中奉行**が管理
➡五街道： 27 _____ ・ _____ ・ _____ ・ _____

<本日のまとめ>

- 2度にわたる朝鮮出兵が豊臣政権の短命化を招くとともに、徳川家康が台頭するきっかけとなった。
- 秀吉没後は、五奉行をはじめとする秀吉の腹心の部下たちの対立に乗じ、切り崩しに成功し、体制を固めた。
- 関ヶ原の合戦に勝利し、江戸幕府を開くとともに、約270年間にも及ぶ長期政権の基盤を作り上げた。